

江津高校 × 江津工業高校 × 江津清和養護学校 高校生フリーペーパー

あ お は る

52HEROES

vol. 22

2025.11

Free paper for
students, parents and
local people

Publisher: GOTSU CONSORTIUM

Edit: TEGONET-IWAMI

Design: D52



地域の学びを通して輝かせる自分の原石
～自分のペースで、自分の個性で～

島根県立江津高等学校

〒695-0021 島根県江津市都野津町 293 tel.0855-53-0553(代)
<https://www.gohtsu.ed.jp/>



神楽部に入って 変わることができた私

3年生 畑岡 慶彦

(浜田市立第一中学校卒・神楽部)

私は小さい頃から神楽が大好きで、江津高校のオープンスクールで神楽部の体験をしました。その時の楽しい雰囲気と、先輩方の優しさから「ここに入りたい!」と強く思い、江津高校への進学を決めました。

江津高校神楽部の自慢は、部員同士の仲の良さです。私はもともと、自分から積極的に話せないタイプでしたが、神楽という共通の話題があったおかげで、部員同士やOBの方々と自然に会話する機会が増え、人と話すことがどんどん楽しくなっていました。今では、神楽公演で地域の人たちに自分から積極的に話しかけることができるくらい変わることができました!

練習では意見が合わずにぶつかることもありました。皆で話し合うことで一つの目標に向かって取り組むことができました。その努力が実を結び、全国各地の神楽が集まる大会「神楽甲子園」に出場し、その日一番良かった学校がもらえる「日藝選奨」という賞を受賞することができました。みんなで一生懸命に練習してきた努力が報われた瞬間の喜びは、本当に最高でした。

江津高校には、私みたいに部活動を通して、自分の性格を変えて成長できる「変わる環境」があります。



合同チームで学んだ コミュニケーション力

2年生 宮原 光輝

(江津市立江津中学校卒・野球部)



私が江津高校へ進学を決めたのは、学校案内で見た体育祭や学園祭、授業風景が楽しそうだったからです。入学後、小学校3年生から続けている野球部に入部しました。

現在の野球部は部員数が少ないため、江津工業高校、浜田水産高校と江津高校の3校合同チームで活動しています。活動を始めた当初は、初対面という事もあり、相手のことをよく知らず、やりにくいと感じることが正直ありました。そこで、みんなで練習の報告を頻繁にしたり、練習中に積極的に声をかけ合ったりと、コミュニケーションを取る事を大切にしました。これを継続した結果、より相手を気遣う気持ちが自然と強くなり、相手の気持ちを考えて行動できるようになりました。

今では、練習中は遠慮なくみんなで言いたいことを言い合い、練習が終わっても、学校に関係なく仲良くしています。コミュニケーションを頻繁にとり、信頼関係を築けた結果、秋の大会では、格上のチームに勝つことができ、とても嬉しかったです!

部活動で他校の仲間と繋がり、学校の枠を超えた関係性を築ける江津高校の野球部は、最高の環境です。



“ものじゃない、なりたい自分をつくるんだ”

島根県立江津工業高等学校

〒695-0011 島根県江津市江津町1477 tel.0855-52-2120(代)
https://www.gotsu-th.ed.jp/



興味から始まった 挑戦と成長の高校生活



機械・ロボット科 2年生 渡邊 宝

(浜田市立浜田東中学校・ソフトテニス部)

私は、中学生のとき、友だちがプログラミングをしていて、パソコンを用いた学習に興味を持ちました。江津工業高校ではプログラミングの勉強ができることを知って、パンフレットを見て、入学したいと思いました。また、溶接の火花が飛び散っている作業風景も載っていて、こんな実習も楽しそうだなと思い、入学しました。

入学してから授業では、CADというパソコンのソフトウェアを使って製図をする実習が楽しいです。自分で「図面を描き、寸法を決めて、実際に3Dプリンターで形作れることがすごく楽しいです。

部活動は、小学校5年生からソフトテニス部に所属し、今ではキャプテンをやっています。キャプテンとして、チームをまとめることにやりがいを感じています。江津工業高校は、放課後の時間を効率的に使うことができ、勉強も部活動も両立して頑張ることができ、勉強も部活動からも両立して頑張ることができ、これからの部活動に一生懸命取り組みながら、資格取得にも力を入れていきたいと思っています。



父の背中に学んだ 「ものづくり」への道

建築・電気科 3年生 石田 翔海

(江津市立江津中学校・バスケットボール部)



私の父は大工の仕事をしており、昔から建物を建てているところを観る機会が多くありました。何もないところから大きな建物ができていく、その過程が興味深かったので自分もやってみようと思うようになり、江津工業高校に入学しました。江津工業高校では、多くの実習を体験する中で、専門工具に触れることができ、よい経験になりました。

今、学校生活で一番楽しいことは部活動です。私は、バスケットボール部に入っていて、チームで目標に向かって頑張ることが好きで、部活動のおかげで毎日が充実しています。

江津工業高校を卒業したら、市内製造業に就職します。チーム力を求めていると説明会で聞き、今までのものづくりの経験だけでなく、部活動での経験も活かしていきたいと感じました。

江津工業高校では、授業や実習を通して、実際に自分で多くの工具や機械を使って体験ができるところがとても良いと思います。多くの中学生に入学してもらえたら嬉しいです。





島根県立江津清和養護学校

〒695-0001 島根県江津市渡津町 772 番地
TEL 0855-52-2613
<https://sites.google.com/ict.shimane.ed.jp/gotsuseiwa/>



地域の方々とかかわりながら、 社会で暮らしていく

社会と本校児童生徒の双方向で心が動く活動に、
取り組んでいます。

江津清和×よさみん 「対面で読み聞かせ会を行いました」

7月に、読み聞かせサークル「よさみん」の皆様に来ていただきました。3年前から、学期に1回リモートで読み聞かせをしていただいていたのですが、今回は対面での読み聞かせを行うことができ、お互いに「やっとなね」と感激でした。

手遊びでは「ドーナツ、ドーナツ」、読み聞かせは大型絵本で「たなばたバス」を読んでもらいました。「やっぱり、目の前で歌ってもらったね」「最後までじっと聴いていたね」「笑顔が見られたよ」と充実した時間でした。



やっとお会いできました！



ドーナツ、ドーナツ、ころころ…

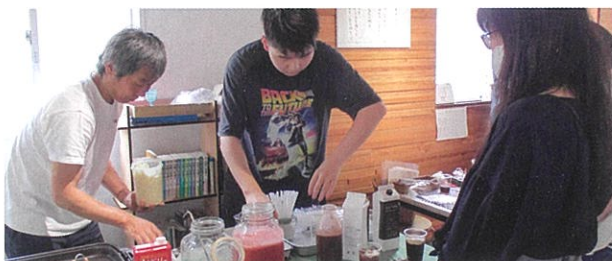


最後までじっと聴いていました

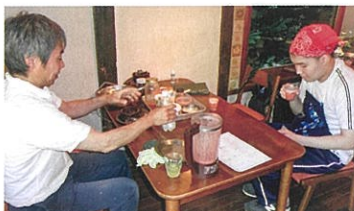
江津清和×風のえんがわ 「風のえんがわさんとコラボしよう」

中学部3年生は、昨年度職場体験学習でお世話になったカフェ「風のえんがわ」さんとコラボし、生徒が作ったオリジナル恐竜キャラクターと、そのイメージに見立てたドリンクを一緒に開発し、生徒が描いた恐竜のキャラクターカードやしおりをつけて、イベントやお店で販売しました。

江津本町での町おこしイベント「ふらり」では、風のえんがわの皆さんと一緒に、カードを渡しながら接客を行いました。8月のお店でのイベントでは、ドリンクの販売だけでなく、カードのもととなった恐竜の絵の原画展も同時に開催させていただきました。



シェフと一緒にドリンクづくりや接客をしました



「味はイメージとあってる？」「イチゴがもっと多い方がいいです」など打ち合わせながら、味を決めました



完成したカードとドリンクです

江津清和×松平たすけ愛協議会 「みそづくりを学ぼう」

高等部2年生は、家庭基礎の学習の一環で、「みそ汁コンテスト」にチャレンジ。みそ汁コンテストの条件の1つは、島根県産の味噌を使用すること。

江津には有名な「まつやま味噌」があることを知り、みそづくりを行っている松平たすけ愛協議会の方にご協力いただき、味噌作りの工程を教わるとともに、実際に体験をさせていただきました。初めて知る工程に生徒たちも興味をもちながら、取り組むことができました。



まつやま味噌の作り方を映像で見ました



つぶした大豆はボール大に丸め空気を抜くために壺に投げ込みました



麹を混ぜた大豆を味噌すり機でつぶしました

GO GOTSU!
コンソーシアム

NPO 法人てごねっと石見
担当：藤田 / 齋ヶ原

tel : 0855-52-7820 mail : iwami@legonet.net

GO GOTSU!コンソーシアムは学校を超えて、様々な人、企業、地域、学校が協働し、お互いがいかに自分に出会うことができる協働の種を探しています。協働の種が見つかった方はぜひ事務局までご連絡ください。